

事業所名		多機能型児童発達支援センター AsNatural				支援プログラム（保育所等訪問支援）				作成日		2024 年		4 月		1 日	
法人（事業所）理念		こども、家族の生活・人生を支えられる医療・療育を提供します。															
支援方針		・愛着形成を基盤とし、こどもが安心して過ごせる場所を提供します。 ・生きるために必要なこと（栄養を取り込む、身を守る）を一人一人のこどもに合った方法で支援します。 ・成長のつまづき、苦手なことに向き合い、困りごとが少しでも解決できるように支援します。															
営業時間		9 時 00 分から 17 時 00 分まで				送迎実施の有無		あり なし									
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	家庭・園での生活の状況と利用者の健康の状態を把握し、園・家庭で調節が必要時、関係機関と連携し支援します。 身辺自立など利用者の年齢に合った発達がどのくらい出来る等把握し、必要時関係機関と連携し支援方法を検討します。															
	運動・感覚	利用者の運動・感覚面での本人の発達段階と特性を理解し、環境調節や支援方法を関係機関と共有し必要な支援を実施します。 必要時、有資格者（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）は訪問し専門的な視点から困りごと等を確認し、助言やアドバイスをします。															
	認知・行動	利用者の認知・行動面での本人の発達段階と特性を理解し、環境調節や支援方法を関係機関と共有し必要な支援を実施します。															
	言語コミュニケーション	利用者の言語・コミュニケーション面での本人の発達段階と特性を理解し、環境調節や支援方法を関係機関と共有し必要な支援を実施します。 必要時、本人の表現方法や表現のスキル面での方法やサインの利用の仕方等、専門的な面から関係機関・家族と共有して支援方法を提案します															
	人間関係社会性	利用者の人間関係・社会性面での本人の発達段階と特性を理解し、環境調節や支援方法を関係機関と共有し必要な支援を実施します。 集団生活の場面・個別での場面での様子を理解し必要な場面においてどのような支援方法が良いのか一緒に検討します。 未就学児は、園などと情報共有し就学に向けて、今後の課題等を一緒に共有し支援します。															
家族支援		常に情報共有し、個々に家庭状況を確認・理解し何が困っているのか、理解出来ないのか等、細かく理解し対応方法等、関係機関と連携しサポートします。				移行支援		園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連絡調節を行い、必要時情報提供共有をします。									
地域支援・地域連携		関係機関等との連携を図り、こどもが地域で暮らしていく手助けをします。 行政の行う連絡協議会への参加や外部研修会に参加します。				職員の質の向上		センターにおける研修や外部研修、外部機関の勉強会等参加し、スキル向上に努めます。									
主な行事等		特に実施しておらず。															